



主な内容

- 2……パブリックコメント名張市観光戦略(素案)
- 3……ひまわり、かがやき催物、国津の杜の行事
- 4……6月の二次救急実施病院、名張グリーン大作戦2014



地域の自慢で人を引き寄せる 地縁法人 錦生自治協議会

地縁法人 錦生自治協議会では、地域にある史跡や文化財、自然環境を生かしたウォーキングロードを整備しました。

安部田から矢川、上三谷、竜口を通る約6キロメートルのコースで、忍者の見張り台といわれる秋葉山や、野生菖蒲の群落、南北朝時代の石灯籠など見所満載。熊岩という水路を通じた明治時代の岩のトンネルも、子どもたちの探検心をくすぐります。

「地域の由緒ある史跡や自然の風景は、地域の自慢。見て歩けるようにすれば、多くの人を訪れ、地域が元気になるのでは」と、協議会では考えたそうです。地域住民を対象にした春のウォーキングイベントでは、「地元で住んでも知らなかった」と、あらためて地域の魅力に触れた人がたくさんいました。

実は、このウォーキングロードは、地域のさまざまな人や団体とつながる役割も果たしました。NPO法人 赤目の里山を育てる会は、足場の悪いところを階段状にして歩きやすくし、名張西高校の生徒は、道しるべや史跡の案内図のデザインを考えました。こうした動きは、まちづくり活動の活性化にもつながっているそうです。

今後は、地元の人に地域を知ってもらうことに力を入れながら、パンフレットを作成し、市内外に地域の魅力を発信していくほか、北部コースの新設、語り部の育成などを進めていくそうです。



みんなに知ってほしい

地元の歩き方

とっておきの

近年、観光ニーズが多様化し、個人旅行が増えるとともに、滞在型、体験型観光への注目が高まるなど、観光を取り巻く環境は大きく変化しています。

そんな中、市内外から多くの人に訪れてもらおうと、地域の資源を掘り起こしながら、地域の魅力発信に取り組んでいる地域づくり組織があります。観光資源は、名所旧跡ばかりでなく、意外と身近なところにあるのかもしれない。

地縁法人 錦生自治協議会(錦生公民館内)
名張地区まちづくり推進協議会(名張公民館内)

☎6463・0252
☎6463・2605



名張地区まちづくり推進協議会では、「まち歩き」を楽しんでもらおうと、新たに観光案内地図を作成。旧名張消防署跡地(栄町)と旧細川邸やなせ宿に設置した案内板で紹介しています。

地図には、6カ所の「まちかど博物館」を巡る「まちなか散策コース」、初瀬街道沿いの史跡を巡る「初瀬街道・ひやわい散策コース」、神社仏閣などを

巡る「歴史探訪(パワースポット)コース」の3つのコースを設定。そして、地図で紹介する情報は地域住民からも募集しました。小さな神社や石碑、個人宅や商店で文化資料を見学できるまちかど博物館など、ただ歩いているだけでは見過ごされてしまうような、地元のとっておきの情報も見逃せません。また、やなせ宿のレンタサイクルを活用すれば、行動範囲もぐっと広

がります。

さらに、若者にも興味を持ってもらいたいと、名張高校の生徒からの意見も取り入れ、散策コースや見所を携帯電話などを使って動画で見られるようにしたり、名張出身のデザイナーが考案した名張の町をイメージしたキャラクター「ひやわん」を活用したりしています。

今後は、「ひやわん」と一緒に写真が取れるパネルの設置



や、道しるべとなる看板の設置なども予定し、まちなか散策がより楽しめるように工夫が重ねられていきます。

地元ならではの「まち歩き」 名張地区まちづくり推進協議会